

令和 6 年度 学習の手引き

教科名	国語科	年次	2学年	使用教材	大修館書店『国語表現』 常用漢字フォルダ(浜島書店) ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)
科目名	国語表現		必修		
		単位	2		

科目の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習方法

- (1) 授業について
- 話し合いやグループワークでは、自分の考えを深めるとともに、他者の視点を知ることを意識しましょう。
 - さまざまな文章を読んで、論理的に考える力や他者に共感する力、想像する力を養いましょう。
 - 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることを意識して、作文や発表、プレゼンテーションなどの活動に取り組みましょう。
- (2) 学習の留意点
- 意味や使い方がわからない語句や漢字は、chromebookや国語辞典を活用して必ず調べましょう。
 - ワークシートや作文、レポート等の提出期限を確認し、計画的に取り組みましょう。
 - わからないことはそのままにせず、質問しましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点	評価の観点の趣旨
① 知識・技能	授業への参加を前提とした上で評価をする。 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
② 思考・判断・表現	授業への参加を前提とした上で評価をする。 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への参加を前提とした上で評価をする。 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
B B B	6	3
A B C	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	1
C C C	1	

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
授業内の活動への参加状況	◎	◎	◎	発言や取り組みの内容
スピーチ・グループ発表	○	◎	○	内容、発表の仕方
作文・プリント等への取り組み	○	◎	◎	内容、見やすさ、わかりやすさ
単元テスト	◎	◎	○	内容、理解度
小テスト	○	○	◎	取り組み

◎特に重視する点

内容のまとめりごとの評価規準

科目名:国語表現

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめり				
1	話す・聞く	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	積極的に学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い、適切な評価を行おうとしている。
2	書くこと	主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えを明確に述べている。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	目的や意図に応じて適切な内容や形式について粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。
3	読むこと	主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。
4				
5				
6				
7				
8				

年間学習計画

(話す・聞く) 21h (書くこと) 49h

教科(国語)学年(2)
履修形態(必修)

科目(国語表現)
単位(2)

学期	時	単元名 (内容のまとまり)	教材 題材	主な学習内容	育成する 資質・能力	主な評価方法	評価の 観点		
							①	②	③
前	2h	表現を楽しむ (話す・聞く) 1h (書くこと) 1h	言葉で遊ぶ (折句、言葉遊び)	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。 言葉を意識し、ゲームをとおして語彙を広げ、言語感覚を豊かにする。 辞書の言葉の定義のしかたを意識し、わかりやすく適切な定義を書く。 	・発見力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○
	27h	言葉と出会う (書くこと) 27h	言葉と表記” 整った文を書く” 相手に応じた言葉遣い” わかりやすい文を書く” 文のつなぎ方” ■実践トレーニング①	<ul style="list-style-type: none"> 表記の決まりを意識し、正しく書く。・漢字や慣用表現を正しく使う。 係り受けについて理解する。・文末表現について理解する。 敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、使い分けについて理解する。 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 接続表現の種類と働きを理解する。 	・発見力 ・学ぶ力 ・思考力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト	○	○	○
	10h	読書感想文 (書くこと) 10h	読書感想文	<ul style="list-style-type: none"> 読書を通じて得た感動や思いを、他者に伝える。 興部町読書感想文コンクールに応募する。 他者に読んでもらうための原稿を、丁寧な文字で作製する。 	・発見力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○
後	4h	伝える、伝え合う (話す・聞く) 4h	自己紹介ゲーム 言葉のストレッチ体操 <small>【目標への到達】それ以外の手段で意思疎通の試み</small>	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 取り上げる内容や話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。 聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。 	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み スピーチ・グループ発表	○	○	○
	2h	表現を楽しむ (話す・聞く) 2h	無人島で生き残り	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するために、建設的に話し合う。 積極的に話し合いに参加し、他者の意見を尊重しつつ自分の意見を適切に述べる。 	・行動量 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み スピーチ・グループ発表	○	○	○
	13h	自己PRと面接 (話す・聞く) 11h (書くこと) 2h	自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう <small>【目標への到達】それ以外の手段で意思疎通の試み</small>	<ul style="list-style-type: none"> 経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。 	・発見力 ・行動量 ・思考力 ・表現力 ・寛容力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み スピーチ・グループ発表	○	○	○
	2h	会話・議論・発表 (話す・聞く) 1h (書くこと) 1h	相手や場面に応じた会話	<ul style="list-style-type: none"> 場面にふさわしい言葉遣いを考える。 適切な言葉遣いでロールプレイをする。 	・発見力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・自己指導力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み スピーチ・グループ発表	○	○	○
	8h	小論文・レポート入門 (書くこと) 8h	小論文とは何か 反論を想定して書く <small>【目標への到達】それ以外の手段で意思疎通の試み</small>	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の基本的な書き方を理解する。 意見を筋道を立てて書く。 原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。 	・学ぶ力 ・行動量 ・思考力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト スピーチ・グループ発表	○	○	○
2h	会話・議論・発表 (話す・聞く) 2h	スピーチをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 話し手が話しやすい聞き方をする。 説得力のある主張をするために、必要な情報を集めたり、構成や説明資料を工夫したりする。 聴衆を説得することができるよう、効果的に話す。 	・探究力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み スピーチ・グループ発表	○	○	○	

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名	国語表現	教材 題材	言葉で遊ぶ (折句、言葉遊び)		
単位数	2				
単元名	表現を楽しむ				
内容のまとめ	(話す・聞く) 1h (書くこと) 1h				
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・回文や折句、しりとりや語呂合わせなどの表現の技法について理解を深めて使う。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。	・さまざまな言葉遊びに興味をもち、意欲的に活動に取り組む。		
単元の学習内容	・さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。				
	・言葉を意識し、ゲームをとおして語彙を広げ、言語感覚を豊かにする。				
	・辞書の言葉の定義のしかたを意識し、わかりやすく適切な定義を書く。				
	(空白)				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 ・回文や折句、しりとりや語呂合わせなどの表現の技法について理解を深め使っている。【(1)オ】	・「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】	・さまざまな言葉遊びに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。		
主な評価方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○	
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○	
	(空白)				
	(空白)				
	(空白)				
	(空白)				
配当時間	2時間				
補足等					

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修		
科目名	国語表現	教材 題材	言葉と表記”	育成する 資質・能力	
単位数	2		整った文を書く”		・発見力 ・学ぶ力
単元名	言葉と出会う		相手に応じた言葉遣い”		
内容のまとめ	(書くこと) 27h		わかりやすい文を書く”		
		文のつなぎ方”			
			■実践トレーニング①		
				・思考力 ・表現力	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解する。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組む。 		
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・表記の決まりを意識し、正しく書く。・漢字や慣用表現を正しく使う。 ・係り受けについて理解する。・文末表現について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、使い分けについて理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・接続表現の種類と働きを理解する。 				
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。[(1)ア] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。[(1)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。” 		
主な評価方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○	
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○	
	単元テスト・小テスト	○			
配当時間	27時間				
補足等					

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力
科目名	国語表現	教材 題材	読書感想文		
単位数	2				
単元名	読書感想文				
内容のまとめ	(書くこと) 10h				
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介する。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討する。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫する。	・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組む。		
単元の学習内容	・読書を通じて得た感動や思いを、他者に伝える。 ・興部町感想文コンクールに応募する。				
	・他者に読んでもらうための原稿を、丁寧な文字で作製する。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A(1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。〔A(1)エ〕	・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。		
主な評価方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○	
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○	
配当時間	10時間				
補足等					

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	国語表現	教材 題材	自己紹介ゲーム 言葉のストレッチ 体操 【表現への扉】「それ でいいです」/ 意図理解の難しさ	育成する 資質・能力 ・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・自己指導力
単位数	2			
単元名	伝える、伝え合う			
内容のまとめ	(話す・聞く) 4h			
単元の目標	知識・技能 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の 思いや考えが伝わるよう、具体例 を効果的に配置するなど、話の構成 や展開を工夫する。	思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの 主張や論拠を吟味したり、話し合い の進行や展開を助けたりするために 発言を工夫するなど、考えを広げたり 深めたりしながら、話し合いのしかた や結論の出し方を工夫する。	主体的に学習に取り組む態度 ・話し合いによって課題を解決する ゲーム的活動に興味をもち、意欲的 に取り組む。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容や話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。 			
単元の評価規準	知識・技能 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の 思いや考えが伝わるよう、具体例 を効果的に配置するなど、話の構成 や展開を工夫している。[A(1)ウ]	思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの 主張や論拠を吟味したり、話し合い の進行や展開を助けたりするために 発言を工夫するなど、考えを広げたり 深めたりしながら、話し合いのしかた や結論の出し方を工夫している。[A (1)キ]	主体的に学習に取り組む態度 ・話し合いによって課題を解決する ゲーム的活動に興味をもち、意欲的 に取り組もうとしている。”	
主な 評価 方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
	スピーチ・グループ発表		○	○
配当時間	4時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	国語表現	教材 題材	無人島で生き残れ	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	表現を楽しむ			
内容のまとめ	(話す・聞く) 2h			
				・行動量 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力
単元の目標	知識・技能 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。	思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。	主体的に学習に取り組む態度 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組む。	
単元の学習内容	・課題を解決するために、建設的に話し合う。 0			
単元の評価規準	知識・技能 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1)ア〕	思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕	主体的に学習に取り組む態度 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	
主な評価方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
	スピーチ・グループ発表	○	○	○
配当時間	2時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修		
科目名	国語表現	教材 題材	自分を見つめて	育成する 資質・能力	
単位数	2		効果的な自己PR		・発見力
単元名	自己PRと面接		将来の自分を考えよう		・行動量
内容のまとめ	(話す・聞く) 11h (書くこと) 2h		【表現への扉】働く人の姿／なりたいたい「モデル」を見つけよう／データを読む⑨		・思考力 ・表現力 ・寛容力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫する。 		
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。 				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] 		<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。 		
主な評価方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○	
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○	
	スピーチ・グループ発表		○	○	
配当時間	13時間				
補足等					

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	国語表現	教材 題材	相手や場面に 応じた会話	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	会話・議論・発表			
内容のまとめ	(話す・聞く) 1h (書くこと) 1h			<ul style="list-style-type: none"> ・発見力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・自己指導力 ・コミュニケーション力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深める。 ・「書くこと」において、異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを、報告書などにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー活動に興味をもち、意欲的に活動に取り組む。” 	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)カ〕 ・「書くこと」において、異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを、報告書などにまとめている。〔B(2)カ〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー活動に興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。” 	
主な評価方法	授業内の活発への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
	スピーチ・グループ発表	○	○	○
配当時間	2時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	国語表現	教材 題材	小論文とは何か	育成する 資質・能力
単位数	2		反論を想定して書く	
単元名	小論文・レポート入門		【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	
内容のまとめ	(書くこと) 8h			
単元の目標	知識・技能 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。	思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりする。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりする。	主体的に学習に取り組む態度 ・話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組む。	
単元の学習内容	<p>・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。</p> <p>・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。</p> <p>・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。</p>			
単元の評価規準	知識・技能 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ]	思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。[A(1)オ] ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりしている。[A(1)キ、(2)エ]	主体的に学習に取り組む態度 ・話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。”	
主な評価方法	授業内の活発への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○		○
	単元テスト・小テスト	○	○	
	スピーチ・グループ発表		○	○
配当時間	8時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	国語表現	教材 題材	スピーチをしよう	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	会話・議論・発表			
内容のまとめ	(話す・聞く) 2h			<ul style="list-style-type: none"> ・探究力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組む。 	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある主張をするために、必要な情報を集めたり、構成や説明資料を工夫したりする。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・聴衆を説得することができるよう、効果的に話す。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 [(1)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。” 	
主な評価方法	授業内の活躍への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み		○	○
	スピーチ・グループ発表	○	○	
配当時間	2時間			
補足等				